

# “ You ”

西山裕希子

NISHIYAMA YUKIKO

2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター) 4月4日(土) 16:00~(75分予定) 予約不要・入場無料

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員) 4月11日(土) 14:30~(75分予定) 予約不要・入場無料



【広報画像01】

右上:

西山裕希子 《弓と弦 Allegory with Venus or Psyche, and Cupid》

染料、蠟による防染、染料によるプリント、綿布  
78×100cm 2015

左下:

西山裕希子 タイトル未定、

ゼラチンシルバープリント、ガラス  
32.5 × 41.5cm 2015

## “ You ”

西山裕希子

NISHIYAMA YUKIKO

2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター) 4月4日(土) 16:00~(75分予定) 予約不要・入場無料

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員) 4月11日(土) 14:30~(75分予定) 予約不要・入場無料



【広報画像02】

## 本展DM使用画像

左: 西山裕希子《 reflection\_ trace the boundary 》

ゼラチンシルバープリント  
28×35.5cm 2014

右: 西山裕希子《 reflection 》

ゼラチンシルバープリント  
28×35.5cm 2014  
©Nishiyama Yukiko

ギャラリー・パルクでは、3月28日[土]から4月12日[日]まで、西山裕希子による個展“ You ”を開催いたします。

2003年に京都市立芸術大学大学院(染織)修了、現在は同大学大学院博士課程(油画)に在籍する西山裕希子(にしやま・ゆきこ)は、染織をルーツに、蠟燭染などのテクニックを用いた作品制作をはじめ、近年は銀塩写真や鏡、ガラスなどをあわせて用い、インスタレーション的な空間展開を試んでいます。

『人の関係のなかの、精神的な距離の曖昧さや、揺らぎや緊張、他者へイメージを重ね投影するといった「うつす」ことに関心をもっています。』とする西山は、人の姿をおもなモチーフに、蠟と蠟の境界に出来る隙間を線として画面に残す蠟燭染めの技法を用いて描いています。この蠟燭染めによる蠟と蠟の境界にある不確定で見えない隙間(距離)を、線として顕在化させるこのプロセスは、人と人との間にある曖昧な境界を巡る行為として作品化されているといえます。

また、このプロセスにおいて西山は「うつす」へも興味を寄せています。プリントされた既存のモチーフを西山の手によりうつしとるトレースドローイングによる作品は、うつす行為の中に回避し難い僅かな像のズレ(対象との距離)を孕むものであり、西山はこうした「うつす」行為が「人の関係の間にある距離の曖昧さ」へと繋がるものであると捉えています。同時にゼラチンシルバープリントやトレースドローイング、鏡や写真、物質への映り込みや光の反射などを要素に、ひとつの像が別の媒体に「うつる」ことへの着目は、作品の在り方をフレームにより切り取られたひとつの物質に限定するのではなく、空間におけるそれら相互の関わり(距離)へと展開させています。

2012-14年にかけて、3度のドイツ・ベルリン滞在を経た後の発表となる本展では、西山がこれまで一貫して取り組み・深めてきた「人の関係の間にある距離の曖昧さ」への視点をなぞるとともに、現在の主眼のひとつである「うつす」ことへの関心をも垣間見ることができるのではないのでしょうか。また、本展会場において鑑賞者は、そこに作品をはじめとする様々な要素を見出し、それぞれの関わりや狭間にある距離を計りながら、いつしか空間そのものをなぞるかのような鑑賞を体験頂けるのではないのでしょうか。

## “You”

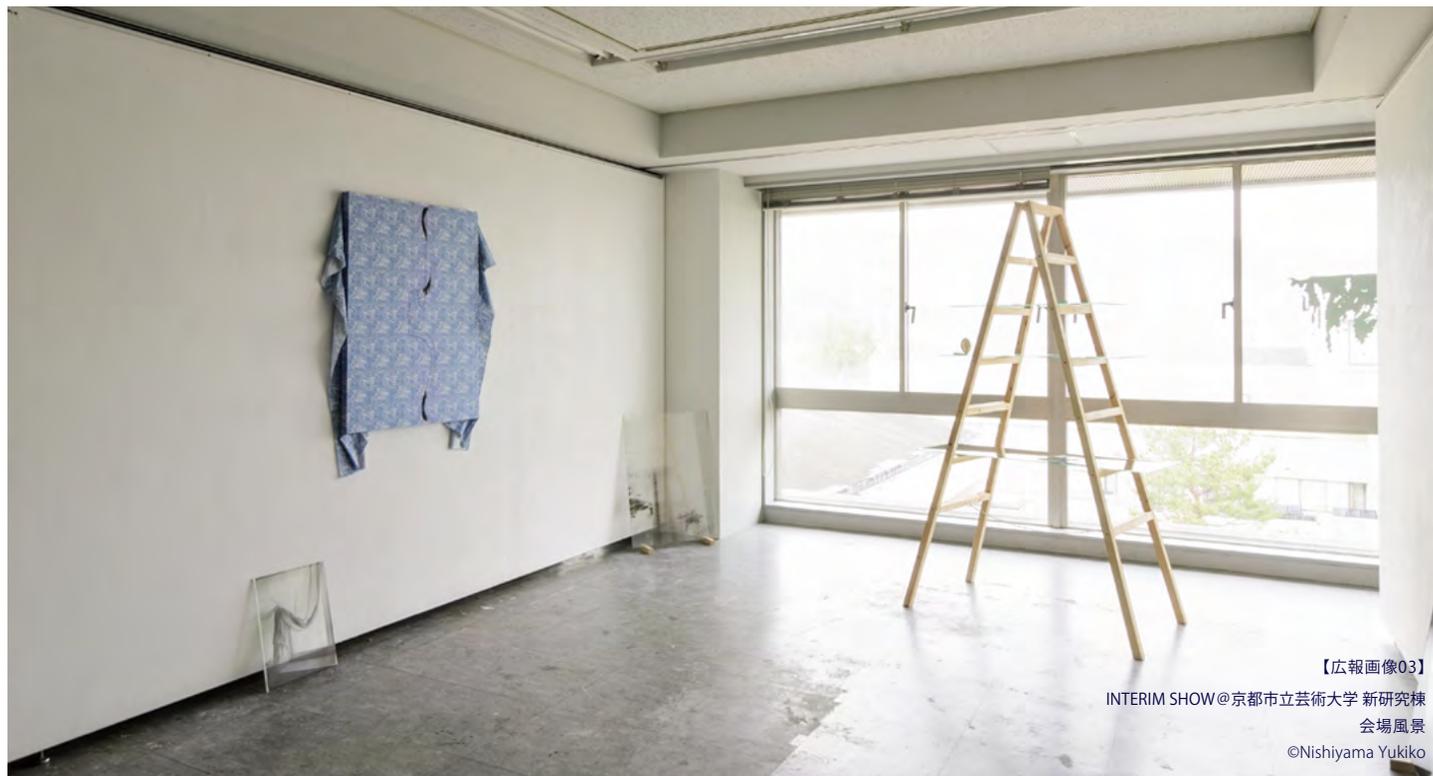
西山裕希子

NISHIYAMA YUKIKO

2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター) 4月4日(土) 16:00~(75分予定) 予約不要・入場無料

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員) 4月11日(土) 14:30~(75分予定) 予約不要・入場無料



【広報画像03】

INTERIM SHOW@京都市立芸術大学 新研究棟  
会場風景

©Nishiyama Yukiko

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、  
【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 “You”

出品作家 西山裕希子(にしやま・ゆきこ)

→http://yuki-nishiyama.com/

会期 2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

助成 公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人吉野石膏美術振興財団、公益財団法人野村財団

内容 西山裕希子による個展。染織による平面作品を中心に、ドローイング、写真などによるインスタレーション。

関連イベント トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター)

4月4日(土) 16:00~(75分予定) 予約不要・入場無料

京都芸術センター・山本麻友美氏をお招きし、染織をルーツに、「蠟結染」による絵画制作から、現在の鏡・写真などを用いたインスタレーションまで、これまでの西山作品の展開を中心にトークいたします。

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員)

4月11日(土) 14:30~(75分予定) 予約不要・入場無料

2012年に開催された「かげうつしー写映・遷移・伝染ー」、現在開催中の「第二回かげうつし展覧会『Here-After』」などの企画を手がける林田新氏をお招きし、現在の西山の主題のひとつである「うつつ」をテーマにトークいたします。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel&amp;Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル]2F

【Tel&amp;Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

## “ You ”

西山裕希子

NISHIYAMA YUKIKO

2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター) 4月4日(土) 16:00~(75分予定) 予約不要・入場無料

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員) 4月11日(土) 14:30~(75分予定) 予約不要・入場無料

## statement

わたしは、人の関係のなかの、精神的な距離の曖昧さや、揺らぎや緊張、他者へイメージを重ね投影するといった「うつす」ことに関心をもっています。この関心をもとに、染織技法の蠟纈染めを使い、蠟と蠟の境界/すき間を線として室内の人の姿やものの形を描いています。また、この作品を制作する中で、光とフィルム、鏡と写真、映像の映り込みや反射など、ある像が鏡や光を通して別の媒体に「うつる」ことに関心もちはじめ、「うつす」行為に焦点をあてゼラチンシルバープリントやトレースによるドローイングなど、いくつかのメディアを選び制作しています。

## 描く方法について:

描く方法として染色技法を用いる理由は、染料を蠟で防染する行為にあります。蠟纈染めは、描きたい線のまわりに、筆で溶かした蠟を布に浸透させ、その蠟と蠟の境界に染料を染み込ませ、蠟のすき間を線として描いています。私はこうした制約となるようなプロセスを伴う方法を選び、その中での表現を試みています。なぜなら、染料という本来水に溶けて滲むものを、蠟を用いてその滲みを防ぎ、蠟と蠟の境界を線として描くことは、私が人の間に起こる関係について考え、目には見えない曖昧な境界を辿る行為を可視化し、流動的な人の関係の一瞬の状態を切り取り、固定するものと考えているからです。



【広報画像04】

INTERIM SHOW@京都市立芸術大学 新研究棟

会場風景

©Nishiyama Yukiko

## “ You ”

西山裕希子

NISHIYAMA YUKIKO

2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00～19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター) 4月4日(土) 16:00～(75分予定) 予約不要・入場無料

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員) 4月11日(土) 14:30～(75分予定) 予約不要・入場無料

「うつす」行為について:

ここでわたしの考える「うつす」とは、ある像が別の媒体の上へ転写、描写することです。わたし自身の手によって「うつす」ことを経過することで、像はそのまま転写されるのではなく、僅かなズレやブレをともありません。たとえば、染色技法を用いた作品において、描かれる対象は、線を「うつす(写す)」行為を繰り返すことで、時間の経過によるものとは別の僅かなズレやブレをともありません。

またトレースドローイングの《trace the boundary》は、既存の捺染プリントのパターンを引用しています。このプリントの図は、〈女性が壁に映る男性の影の輪郭をなぞった〉ということが、絵画の起原とされる物語を元にしています。わたしはこの図を、制作に一部を引用しています。なぜなら、図のなかの女性が光を通して壁に映る男性の影の輪郭をなぞる情景と、わたしが染織による制作プロセスの中で、何度かひとの姿の輪郭線をなぞるように描くことの間、共通するところがあると思います。そこに意味ある一致があるのではないかと思った為です。トレースドローイングは、この〈光を通して壁に投影された姿の輪郭をなぞる姿〉のプリントモチーフを、わたしの手によって「うつす(写しとる)」ことによって、避け難い僅かな像のズレが生じ、対象との間に距離がうまれます。こうした「うつす」行為によって、「人の関係の間にある距離の曖昧さ」と繋がる表現となると考えています。

2015.03.05

Yukiko Nishiyama

【広報画像05】

INTERIM SHOW@京都市立芸術大学 新研究棟  
会場風景

©Nishiyama Yukiko



# “ You ”

## 西山裕希子

NISHIYAMA YUKIKO

2015年3月28日[土] — 4月12日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

トークイベント:session\_1 西山裕希子×山本麻友美(京都芸術センタープログラム・ディレクター) 4月4日(土) 16:00~(75分予定) 予約不要・入場無料

トークイベント:session\_2 西山裕希子×林田新(京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員) 4月11日(土) 14:30~(75分予定) 予約不要・入場無料

### CV

西山裕希子 NISHIYAMA Yukiko

#### 2015

京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程油画領域 在籍  
2013-14

Universität der Künste Berlin, Professor Leiko Ikemuraの  
もとGuest Studentとして研修

#### 2003

京都市立芸術大学大学院美術研究科染織専攻 修了

#### 助成/在外研修 (Grants/ Fellowship)

2014 野村財団より2014年度上半期芸術文化助成 (公益財団法人  
野村財団)

2013 ポーラ美術振興財団在外研修員としてベルリンに滞在 (公益  
財団法人ポーラ美術振興財団)

2012 吉野美術振興財団在外研修員としてベルリンに滞在 (公益財  
団法人吉野美術振興財団)

#### 個展

2011 「室内模様」STANDING PINE -cube (名古屋)

2010 「a suite -組曲-」neutron kyoto (京都) (05、03年)

「portrait」Showcase/MEGUMI OGITA GALLERY (東京)

2009 「鏡のすき間」PANTALOON (大阪)

2005 「seeing with blind eyes」大阪府立現代美術センター

2001 アートスペース虹 (京都)

#### 主なグループ展

2015 「INTERIM SHOW 2015」京都市立芸術大学 新研究棟

2013 “LET US SNOW” Kreuzberg Pavillon, Berlin,  
Germany

“Rundgang” Universität der Künste Berlin, Germany

「景色替え Scenes Changing」Gallery Hosokawa(大阪)

2012 「京都市立芸術大学博士課程展」京都市立芸術大学ギャラ  
リー@KCUA

「INTERIM SHOW」京都市立芸術大学 新研究棟内1F.4F

「ART OSAKA」Hotel Granvia Osaka (大阪) [Gallery  
Hosokawaより参加]

2010 「VOCA展 2010 -新しい平面の作家たち」上野の森美術館

2009 「ART CAMP 2009」ギャラリーヤマダチンストパウ (大阪)  
[招待参加]

「第17回 清流展」染・清流館 (京都)

「青参道アートフェア」IOSELLIANI T-02-IOS (東京)

2008 「わざわざ報告展」京都芸術センター (2007年よりゼミ参加)

「P&E」ARTCOURT Gallery (大阪)

「ACG Eyes:映像とドローイングー narrativeー」ARTCOURT  
Gallery (大阪)

2005 「群馬青年ビエンナーレ'05」群馬県立近代美術館

2003 「ART CAMP in CASO」海岸通ギャラリーCASO (大阪)

2002 「2002京展」京都市美術館

「entrancement」ギャラリーそわか (京都)

#### 受賞

2004 「第1回現代美術コンクール -出会い系サイトとしての美術:  
森村泰昌とともに鍛える、あなたの表現」グランプリ 大阪府  
立現代美術センター

2002 「京都市立芸術大学制作展」市長賞 京都市美術館

2001 「国際瀧富士美術賞」受賞 公益財団法人日本交通文化協会(東京)

